

瑞穂区のお役立ち情報

いきいき支援センターにて配布しています

おでかけ場所を探している方へ

歩いていける範囲にあるサロンや教室の情報を載せています。



ひとり歩き(徘徊)で困っている方へ

ひとり歩きへの対応の仕方や工夫が載った冊子です。



家族の介護をされている方へ

頑張りすぎない介護をしていただけることをお手伝いする手帳です。



<http://mizuhoikiiki.sakura.ne.jp/>
ホームページからも受け取れます。



瑞穂区役所にて配布しています



瑞穂保健センターにて配布しています



▲みずほ健康づくりマップ

相談窓口

営業時間 9:00~17:00

健康・福祉・介護など、生活のなかでお困りのことやご心配なことがありましたら、担当のいきいき支援センターへご相談ください。

瑞穂区東部 いきいき支援センター

電話 (052)858-4008
FAX (052)842-8122

瑞穂区東部 いきいき支援センター分室

電話 (052)851-0400
FAX (052)851-0410

瑞穂区西部 いきいき支援センター

電話 (052)872-1705
FAX (052)872-1707



担当地域 豊岡・中根・弥富・陽明・汐路小学校区



担当地域 御劔・高田・堀田・穂波・井戸田・瑞穂小学校区

営業時間 8:45~17:15

瑞穂区役所 福祉課高齢福祉係 (052) 852-9396

瑞穂保健センター 保健予防課保健看護担当 (052) 837-3271

電話での相談なら

名古屋市認知症コールセンター (052) 734-7089

月・水・木・金 10:00~16:00 火 14:00~20:00

認知症の人を支えたい人・家族介護者

必携

瑞穂区認知症ケアパス



認知症のことを学びたい 無料

認知症家族教室



認知症ご近所学習会 (認知症サポーター養成講座)

認知症の方を介護しているご家族対象。
認知症の知識を深め、介護者同士の交流を通して心にゆとりができるようお手伝いします。
月に1回、開催しています。

認知症の方が住み慣れた地域で、自分らしく暮らすためには、地域の方々の理解や支援が必要です。認知症の種類・症状・対応方法・心構え等を講座でお伝えします。出前講座も行います。

家族どうして話したい 無料

家族サロン



認知症の方を介護しているご家族や介護の経験のある方対象。
不安や悩みを自由に話し合える場として月に1回、開催しています。

医師に相談したい 無料

もの忘れ相談医による 専門相談



認知症の方を介護しているご家族やもの忘れが気になる方が対象。
個別で認知症の症状や治療について、専門医と相談できます。1回30分程度。予約制

認知症かもしれない 無料

認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職と認知症サポート医で構成されたチームです。

- ①ご家庭を訪問し、ご相談を受け、助言をいたします。
- ②関係者でチーム員会議を開催し、対応を検討します。
- ③適切な医療や介護サービスが受けられるよう支援します。

おでかけしたい

オレンジカフェみずほ

オレンジカフェとは? 瑞穂区独自



瑞穂区が独自に開催しているカフェです。
認知症の人やその家族が気軽に集まれる場所づくりを4つのタイプで開催しています。誰でも参加は可能です。ご希望の方はいきいき支援センターにご連絡を。

モーニング編	ティータイム編	ナイト編	ホリデー編
喫茶店でモーニングを食べながら行うプチ交流会	平日の昼間に開催	交流を中心にお酒や軽食がです。	平日忙しい方のために土・日に開催

なごや 認知症カフェ

認知症カフェとは?

認知症のご本人やご家族、それに加え地域住民、専門職等、地域の誰もが気軽に集い、楽しく過ごしながら仲間づくりや情報交換をする活動拠点のことです。

月1回程度開催しています。
詳しい情報はいきいき支援センターまで!!



使い方 ▶ ☒が多かったステップを縦にみてください。

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患や身体
の状況などにより経過は異なりますが、今後を見通す参考にしてください。家族や周囲の方が、認知症を理解
し、進行に合わせて対応していくことが大切です。

		健康	● ステップ 認知症の疑い ☐重要な約束を忘れる ☐同じことを何回も言う ☐忘れ物が多くなる	● ステップ ひとりで生活ができる ☐日時がわからない ☐物を盗られる妄想がある ☐小銭での支払いができない	● ステップ 見守りが必要 ☐直前の事を忘れる ☐季節や場所がわからない ☐昼夜逆転している	● ステップ 手助け・介護が必要 ☐服を着る順番がわからない ☐箸の使い方がわからない ☐顔が洗えない	● ステップ 常に介護が必要 ☐ベッド上での生活が中心となっている ☐言葉によるコミュニケーションが難しい ☐移動に介助が必要	
家族の気持ち (例)		・否定 ・年齢のせい ・言えばできるはず ・混乱 ・認知症の症状に振り回されてしまう ・自分だけがなぜ ・拒絶 ・介護の疲れ ・割り切り ・受容 ・どう看取るのか						
		気づき～相談 介護保険の申請等 日常的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応 重度・終末期のケア						
本人・家族を支援する主な制度やサービス等	相談窓口	いきいき支援センター ケアマネジャー						
	家族支援	認知症の人と家族の会 家族支援事業、認知症カフェ、オレンジカフェみずほ						
	介護福祉	ホームヘルプ などの訪問サービス デイサービス などの通所サービス ショートステイ などの短期宿泊サービス 「通い」を中心に、「訪問やお泊り」を組み合わせる「小規模多機能型居宅介護」もあります。						
	医療	かかりつけ医 名古屋市もの忘れ検診 認知症サポート医 認知症疾患医療センター などの専門医療機関 訪問看護サービス 歯科医師・歯科衛生士 薬剤師 【医師による訪問診療】 【歯科医による訪問診療】 【薬剤師による訪問サービス】						
		生活支援	地域での見守りや支えあい活動、区政協力委員、民生委員、認知症サポーターなど 生活支援サービス、社会福祉協議会、日常生活自立支援事業、成年後見制度					
		予防	介護予防教室、趣味や特技を活かせる場、市民講座 地域での交流の場					
		住まい	自宅 福祉用具・住宅改修 サービス付き高齢者向け住宅など グループホーム 特別養護老人ホーム					